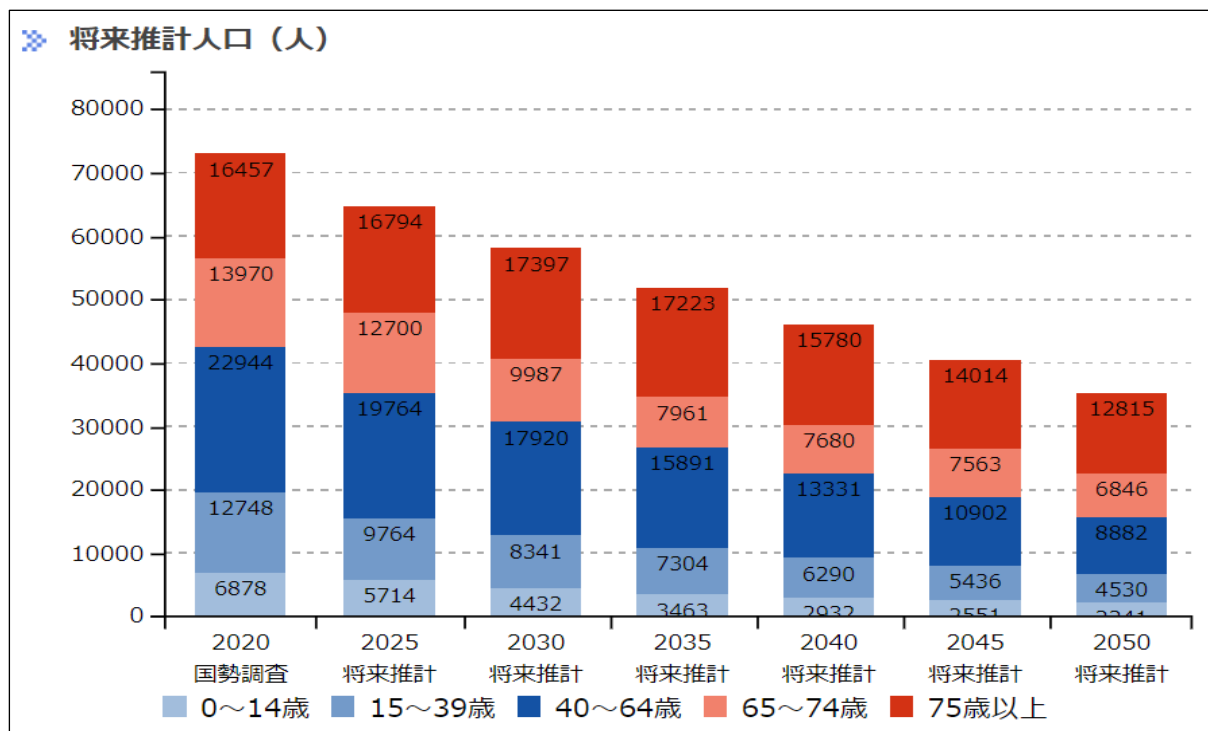


〇つるぎ町立半田病院の病床削減について

1. 現状について

●医療圏における医療需要

徳島県西部医療圏（美馬市・三好市・つるぎ町・東みよし町）では、急速な人口減少と高齢化が進んでいる。2020年の総人口は約7.3万人でしたが、2050年には約3.5万人にまで減少すると推計されており、高齢化率においては既に40%を超え、今後も上昇を続ける見込みである。これに伴い、地域の医療ニーズは急性期医療から、慢性疾患管理や在宅支援へシフトしており、入院を必要とする患者も年々減少傾向にあると想定される。



（※JMAP 地域医療情報システム調べ）

・病床利用率（％）

	R1 年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度
半田病院	72.7	63.7	53.0	52.5	49.7	54.4
全国平均	76.5	75.2	74.4	73.7	74.2	—

（※病院経営実態調査報告書より）

・最大使用病床数（※1年間に最も多くの入院患者を収容した時点の数）

	R1 年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度
半田病院	100	100	95	74	74	90

●看護師不足

一方で、当院では深刻な看護師不足も続いている。特に退職や長期休暇（病休・育休）、条件付勤務により、夜間の勤務体制を維持していく事が非常に困難となっている。これにより、常勤職員の負担増となり、離職や採用難へと悪循環にもなっていると考える。

☆当院の看護職（助産師・看護師・准看護師）の推移

半田病院	R5 年度	R6 年度	R7 年度
看護職員数	108	101	96
（うち病棟勤務）	(63)	(61)	(54)
（うち休職者）	(8)	(7)	(8)
退職者（予定）	4	10	(1)
採用者数	6	1	1

2. 今後の方向性について

これらの問題に対応するため、半田病院としては病床を物理的に縮小し、地域が必要とする医療を持続可能な形で提供するために病床の適正化を図り、町立病院として医師を含めた医療人材の確保と病院運営の健全化に努める。

3. 改正案の内容

・病床数

現 行：1 2 0 床（急性期 86 床、包括ケア 34 床）

↓ （▲ 2 1 床）

改正後： 9 9 床（急性期 89 床、包括ケア 10 床）

・病棟体制

3 病棟体制（3 階、4 北、4 南） → 2 病棟体制（3 階、4 階）※4 階が合体

・施行時期：令和 7 年 9 月 1 日から